

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長浜2丁目計画 新築工事	階数	地上19F
建設地	福岡県福岡市中央区長浜2丁目4番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	239 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2018年3月6日
敷地面積	998 m ²	作成者	リーメック株式会社 高岡 武生
建築面積	480 m ²	確認日	2018年3月6日
延床面積	7,770 m ²	確認者	リーメック株式会社 山下 豪



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、内装材にはすべてF☆☆☆☆の建材を使用し、安全な室内環境となるよう努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分「日本住宅性能表示5-1断熱等性能等級4」を満たす計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺地域の方も利用しやすい公開空地を設け、地域のにぎわいを創出した。
LR1 エネルギー	高効率な機器を採用し、エネルギー消費抑制に努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出抑制に努めた。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分別可能とし、部材の再利用可能性向上に努めた。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される